

「de mano(でまあの)」は、牛豚肉を加工する「まあの」が発行するミニコミです。生産地の様子や生産者の声、「まあの」からのお知らせや小村の個人的な関心事などを掲載しています。

「mano」はエスペラント語で「手」の意味です。生産と消費が「手」つなく肉流通を作り、「手」作業主体の職人の技術で肉を加工するという意を込めています。

まあのから
de mano
エスペラント語で「mano」は「手」、
「de」は「〜から」という前置詞です。

発行:まあの 【火曜定休】

兵庫県尼崎市戸ノ内町5丁目8-6

☎ 06-6495-2546

☎ 06-6495-2900

✉ mano0298@snow.plala.or.jp

HP で検索!

これから申小事業者は？

消費税インボイスへの対応

小村 幸子

国は税金を徴収するために制度をいろいろ作ったり変えたりしますが、おおかたの担い手は事業者です。たとえば、源泉所得税は事業者が給料から天引きして徴収し、納付する義務を負います。そして年末調整をし、集計して報告しないとイケません。けっこう煩雑な作業です。

それに加えて、1989年に消費税3%が始まってからは、消費税の計算をし申告して納付する仕事まで増えました。その後5%になり、8%になり、とうとう10%になって、しかも一部は軽減するとして、複数税率になって、その上3年ごとの経過措置…だなんて、とんでもないややこしさです。

さらに、皆さんご存知のように10月からは、インボイスと呼ばれている厳密化が始まります。年間売上の少ない事業者は、免税事業者のまましていると取引先が仕入の消費税を控除できず、税額が増えてしまうので取引から排除されかねないような制度になります。免税事業者をやめることを選ぶと、これまでの所得税や法人税の確定申告に加えて消費税の申告・納付という税務を担うことになり、多分払う税金も増えます。

私は若い頃、会計事務所で3年ほど働いて多少の簿記の知識があり、これまでは何とかかんとかやってきましたが、脳みそが錆びついてきたこの頃は制度に対応できるか自信がありません。

新しい会計ソフトやレジスターを作っている会社は仕事が増えて助かるかもですが、個人商店や小規模農家、下請け孫請けの個人事業の方たちは、これからいったいどうするんでしょう？

お花見！

希望農場5月農場たより 清野光弘

今年もここ厚真町では例年より早く4月20日に

桜が咲きました。満開は1週間後となりました。ただ例年と違ったのは、桜が開花した後寒い日が続いたため、開花期間が長かったのです。5月の連休まで桜が咲いていたので、お花見は久しぶりに桜の花の下でできました。皆さんもご存じの通り、北海道のお花見に欠かせないのがジンギスカンとビールです。肌寒い中、ジンギスカン鍋で食べるジンギスカンは最高です。さすがにビールの進み具合は遅く、おにぎりを食べながらになりました。

コロナは5月の初めに緩和されて、個人の考えでマスクを外すことができるようになりました。これまで普段の生活ではすでにマスクは着けていませんでしたが、これからは外出時、会合などでも外してもかまわないことになりましたが、慣れとは恐ろしいもので外出するときにはつついマスクをしてしまいます。テレビでもまだマスクの人が多く感じています。

ロシアとウクライナの戦争ですが、終わりの気配が感じられません。この戦争とコロナで何もかもが値上がりしています。特に食料品と電気代の値上げは私たちの生活に直結しています。私の家もできるだけ節約しようと努力をしています。

さて放牧豚たちは人間の世界が変化していることをよそに、暖かくなってきた気候が嬉しいのか元気に農場を走り回っております。その姿を見るとホッとした気持ちになります。

そしてその姿を見て励まされることもあります。戦争のない世界になることを祈るばかりです。

皆様もお体には十分お気を付けください。私たちも健康で働き、皆様においしいお肉をお届けします。



※ 6月11日にまた厚真町で震度5弱の地震がありました。希望農場の皆さんは無事なのですが、豚にもストレスでしょう。以降の影響がないことを祈ります。

大鹿村行きを8月に変更

いろいろ言ってますみません。都合により大鹿村行きは **8月26日(土)27日(日)**に変更します。

関心おありの方はお問い合わせください。

そうなんや？！

太陽光発電、電気自動車の勘違い

先日原子力市民委員会から送られてきた小冊子「エネルギー・温暖化政策 Q&A」で、私の勘違いに気づいてびっくりしました。一部をご紹介しますが、国の進めるGX(グリーン転換)で主張する、原発回帰や再エネへの評価の基本的な誤りを指摘していて、関心をお持ちの人には必携です。

Q 太陽光パネルは製造時に大量のエネルギーを使うのではないですか？ またパネルの廃棄はどうですか？

A 製造に使ったエネルギーは発電によって数年で回収できます。設備製造に使われるエネルギーが、設置後には太陽光で何倍にもなって返ってきます。

実は太陽光パネルの寿命は極めて長いです。効率率は1~2割程度下がるものの30年使った後でも使用は十分可能です。リサイクル・リユース市場も既に存在します。中古太陽光パネルは、中古自動車と同じように海外に輸出されています。

パネルの主成分は、ガラス、アルミニウム、プラスチックで、それらはリサイクルが可能です。九州のリサイクルメーカーである新菱は、99%リサイクル可能な技術を開発しています。

Q 電気自動車(EV)で電力需要が増大するのではありませんか？

A 増えますが、それほど大きくは増えません。今、日本の自家用ガソリン自動車6千万台がすべてEVになったとすると、必要な電力発電量は千億kWhになります。これは、現在の日本全体の年間電力需要の約9%に相当します。

しかし、このEVへの転換は現実的には一定年数が必要です。毎年の新車400万台すべてをEV化していても15年かかる話です。さらに今後再エネの発電量は大きく増大していくので、この程度の需要増加には十分対応可能です。

山の記録

人形仙(岡山県鏡野町) 5月31日

烏ヶ山での靭帯損傷が長引いていまだに痛みがあります。今回はリハビリも兼ねて、足の負担の軽い山を選びました。院庄ICからR179を北上、県立森林公園への道の途中に、分かりやすい大きな看板があります。ここが登山口です。湿気の多い道をしばらく行くと、沼地のようなところに歩くための板が敷いてあり、母子地蔵と人形仙に分かれています。とりあえず母子地蔵に行ってみます。山で行方不明になった母子の供養のために江戸後期に建立されたという由緒あるものです。人の背丈ほどもあり、存在感があります。



続いて山に向かいます。ツツジも終わりか花が散り始めています。周囲は低灌木かササが多く、ササも良く刈り取られていて歩きやすい道です。サクッと30分ほどで頂上です。頂上自体は眺望ゼロですが、梅雨の晴れ間にさわやかな風が吹いて、気持ちのいい山でした。



登山口まで戻ると、ちょうど車が上がってきました。私と同年配のご夫婦です。「これから登るんですか?」「いや、朝から三ヶ上に登ってきたけど、こっちも花がきれいかな?」と思って…」「うーん、ツツジも終わりみたいですね」。人との出会いはこれだけでした。

ニクヤノツブヤキ

◇ 信号のない横断歩道で渡ろうとする人を見ると車を止める習慣が身につきました。対向車もつられて止まってくれて、いい雰囲気です。(幸治)

◇ 仕事の合間にまあの近くの河川敷あたりを散歩するのですが、牧野富太郎さんに名前を尋ねてみたいような可愛い野生の花が結構咲いていて飽きません。(幸子)